

の南九州

第 17 号
平成24年2月20日発行

議会だより

MINAMIKYUSHU CITY



毎年干支づくりに取り組む谷場子ども会

議長・副議長を選出	 2
常任委員会の構成決まる	 3
人事案件、補正予算334万円	 4
新子ども手当支給事業費など補正	 5
市議会議員研修・議会の動き	 6

新議会スタート



南九州市となって2回目の市議会議員の選挙で22人の議員が決まりました。初議会は12月27日から、1月6日までの会期で開かれ、議長、副議長の選挙、常任委員、議会運営委員の選任及び補正予算、教育委員会委員の選任など、原案どおり可決、同意されました。

議長・副議長 選出

森田 隆志
議長



今吉 賢二
副議長



議長あいさつ

議長就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

このたび、議員の皆様のご指示をいただき、南

九州市議会議長に就任いたしました。誠に、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより浅学非才ではありますが、議員各位のご協力ご支援をいただきながら円滑な議会運営に努めていく所存でございます。

議会は、意思決定機関としての役割と市の行財政運営を監視する機関としての役割を果たさなければなりません。そのために、提言、提案の充実とチェック機能の強化を図ります。さらに、徹底した情報の公開による市民の皆様との情報の共有化を図ることにより、皆様の付託に応えられるものと考えております。

また、原点であります「議会は言論の府」であるということを忘れず

に、議場において議論を深めながら市民に開かれた議会を目指し努力してまいります。

本市は、今年市制5周年の節目の年を迎えましたが、本市を取り巻く社会状況は大変厳しいものがあります。これを結束して乗り越えるために、議会といたしましてもこれまで以上に市民の融和と均衡ある発展に尽くしてまいり所存でございますので、市民の皆様率直なご意見やご要望などをぜひ議員の耳にお届けいただきたいと存じます。

最後に、今後とも「議会だより」の一層のご愛読をお願いいたしますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

議会運営委員会

委員長	今吉 賢二
副委員長	山下 つきみ
委員	蔵元 慎一
	塗木 弘幸
	田畑 浩一郎
	深町 幸子
	伊瀬知 正人

議会運営委員会は、議会の運営、議会の会議規則、委員会条例などに関する事項及び議長の諮問に関する事項について調査・審査を行います。



常任委員会の構成決まる。

総務常任委員会

委員長 山下 つきみ
副委員長 田畑 浩一郎
委員 蓮子 幹夫
亀 甲 俊博
東 兼 喜
菊 永 忠行
満 留 秀昭
今 吉 賢二

総務常任委員会は、議
会事務局・総務部・会計
課・選挙管理委員会及び
監査委員の所管に関する
事項並びに他の常任委員
会の所管に属さない事項
について調査・審査を行
います。



文教厚生常任委員会

委員長 蔵 元 慎一
副委員長 深 町 幸子
委員 内 園 知恵子
吉 永 賢三
加治佐 民 生
峯 苦 勝 範
浜 田 茂 久

文教厚生常任委員会
は、市民福祉部及び教育
委員会の所管に関する事
項について調査・審査を
行います。



産業建設常任委員会

委員長 塗 木 弘幸
副委員長 伊瀬 知 正人
委員 西 次 雄
松久保 正 毅
下 窪 一 輝
竹 迫 毅
森 田 隆 志

産業建設常任委員会
は、農林水産部・建設部
及び農業委員会事務局の
所管に関する事項につい
て調査・審査を行います。



一部事務組合議会の議員

() 内は、構成団体

◆南薩介護保険事務組合

(枕崎市 南さつま市 南九州市)

森田隆志 今吉賢二 蔵元慎一 深町幸子
介護保険法の規定に基づく介護認定審査会の審査判
定業務並びに要介護認定及び要支援認定に関する事務

◆南薩地区消防組合

(枕崎市 南さつま市 南九州市)

森田隆志 山下つきみ 田畑浩一郎
消防に関する事務

◆指宿地区消防組合 (指宿市 南九州市)

森田隆志 山下つきみ

消防に関する事務

◆南薩地区衛生管理組合

(枕崎市 日置市 南さつま市 南九州市)

森田隆志 蔵元慎一 深町幸子
ごみ・し尿処理施設の設置及び管理運営
し尿などのくみ取り・火葬場の設置及び管理運営

◆指宿広域市町村圏組合 (指宿市 南九州市)

森田隆志 蔵元慎一
ごみ・し尿処理施設の設置及び管理運営

一部事務組合は、行政の能率化・効率化を図るため、
特定の事務を関係の市町村で共同処理する。

人事案件

◆教育委員会委員◆



永崎 高尚 氏
任期 24年1月8日から
28年1月7日まで
知覧町 郡



池畠 薫 氏
任期 24年1月8日から
28年1月7日まで
川辺町 野崎



福吉 良夫 氏
任期 24年1月7日から
28年1月6日まで
額娃町 郡



満留 秀昭 氏
任期 24年1月7日から
27年12月22日まで
川辺町 清水

◆監査委員◆

◆農業委員会委員◆



(議会推薦)
松久保 正毅 氏
任期 24年1月6日から
26年7月19日まで
知覧町 西元

総務費

補正予算

○一般管理費(一般経費)

334万円

平成20年度地方道路整備臨時交付金事業(大川門之浦線)の事業費の一部が国庫補助金を受けられなくなったことなどに関する行政事件訴訟の第1審判決が、「原告の請求は棄却」となり、原告が控訴したため、控訴審に要する弁護士費用などである。

閉会中の所管事務調査事項

○総務常任委員会

防災の現状と課題及び今後の対策について

○文教厚生常任委員会

学校の現状と今後の在り方について

○産業建設常任委員会

農業経営の実態と今後の方策について

第1回臨時会

1月23日、副市長の選任につき同意を求める案件が提出され、同意されました。

◆副市長◆



鶴田 康夫 氏
任期 24年2月1日から
28年1月31日まで
川辺町 平山
※副市長は、2人体制から1人体制となり、同氏が再任されました。

議会を傍聴してみませんか。

次の議会は **2月21日** 開会予定

“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名などを書くだけ

新子ども手当支給事業費など 補正 一般会計

補正額

3億4,424万円

予算総額 210億9,032万2千円

12月定例会

主な補正

民生費

○新子ども手当支給事業費

2億205万8千円

平成23年10月から、子ども手当の制度改正に伴う経費である。

審査の中で

問 新制度の支給月額及び支給対象者数は。

答 支給月額は、0歳から3歳未満が1万5千円、3歳から小学校修了前の第1子及び第2子に1万円、第3子以降には1万5千円、中学生は一律1万円である。

10月から1月までの4カ月分、対象者は延べ1万7345人の見込みである。

○生活保護扶助費

4206万1千円

医療扶助費が当初見込額を大きく上回ったことにより、増額するものである。

衛生費

○予防接種関係費

1686万1千円

子宮頸がんワクチン接種委託料380人分を増額するものである。



元気に遊ぶ子どもたち

○地球温暖化対策事業費

240万円

住宅用太陽光発電導入支援事業補助金に不足が見込まれるため、20件分の補助金を増額するものである。

補助額は1キロワット

3万円、1件当たり12万円が上限である。

【南九州市課設置条例の制定について】は否決

一、副市長が二人体制となることから、更に部長制を廃止し、課長制に移行する急激な組織の改編は、指揮系統の乱れから混乱を招く恐れがあり、住民サービスの低下が懸念される。

二、現状を見ると、部長が課長を兼務すること、すでに経費の削減は図られており、財政的メリットが見いだせない。

三、現在、支所に部長が存在するが、部制の廃止により横一線となる課長の配置のみとなると、3町に配置された本所の責任を負う課の数が均一でない中、本所に権限が集中し3町の均衡が取れなくなる懸念される。

四、総合支所方式をとっている中で、支所長が部長級でなくなることに伴い、3町の均衡が崩れるという住民不安が生じることが懸念される。以上のような総務常任

委員会の報告があり、賛成・反対の討論もなされ採決の結果否決されました。

なお、課設置条例に関連する【南九州市防災会議条例等の一部を改正する条例の制定について】も否決されました。

【副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例について】を可決。

現在の副市長二人体制から一人体制とする条例が可決されました。

陳情書の採択

◇郵政改革法案の早期成立を求める陳情書

現行の郵政民営化法により郵便・貯金・保険の業務が四つの会社に民営化されたことで手続きが煩雑化し、サービスが低下している。また、過疎地において、貯金や保険のサービスを受けられない事態や局が閉鎖されること、昨年4月閣議決定された郵政改革法案の早期成立をもとめる陳情書を採択しました。

いかにやるか 南九州市議会議員

編集委員 亀 甲 俊 博

1月13日、鹿児島県市議会議員研修会が鹿児島市民文化ホールで開催されました。

二人の講師により「東日本大震災に学ぶ」、「各地の事例に見る、新しい食からの地域再生」の演題で講演がありました。東日本大震災巨大津波が引き起こした災害と被



が呼びかけられていたにもかかわらず大きな被害を受けてしまいました。

夜中の暗闇の恐怖の中での災害救助や、その後の救援、復興の事を思い出すことでした。

その時の教訓として各家庭に防災行政無線が整備されました。

講演の結びに、大災害という緊急時に自治体の議会（議員）、行政の課題として、

・ 議会、議員は被災者の目線で。

・ 見えない議員、議会の動き。

・ 被災者に寄り添った復興。

・ 「説得」ではなく「納得」復興へ十分な議論と時間の場。

など、被災地の状況を踏まえて話されました。

やはり災害に対する危機管理などを考える上で、「確実な情報提供」と「説得ではなく納得してもらうための十分な議論と時間の場」を市民と持つことが必要であると感じました。

議会の動き

12月11日	南九州市議会議員選挙
12日	当選証書交付式
20日	議員懇談会
27日	平成23年第7回臨時会
27日～平成24年1月6日	
1月6日	議会運営委員会
13日	鹿児島県市議会議員研修会
17日	議会運営委員会
23日	平成24年第1回臨時会
2月13日	議会運営委員会
21日	本会議（開会）
24日	議会運営委員会
3月23日	本会議（閉会）

新しい広報編集委員の紹介



議会だよりの編集は、今回から新しい委員が担当します。

委員長 峯 勝
副委員長 田 畑
委員 亀 俊 博
委員 下 窪 一 輝
委員 西 次 雄
委員 吉 永 賢 三

編集後記

平成24年の新春を迎え南九州市も6年目の年となりました。

議会も新しい構成となり、平均年齢が2歳若返り58歳となりました。この若い力がこれからの4年間、さらには5年先、10年先の南九州市議会の基礎づくりに貢献できるものと確信いたします。

また、議会広報編集委員会も新しい委員構成となり議会が身近に感じていただけるよう、議会傍聴に行けない市民の目線に立つて分かりやすい紙面づくりに努めてまいりたいと思いますので、市民の皆様の率直なご意見やご感想、ご要望などお聞かせくださるようお願いいたします。

（峯 勝）

